







「これからは
一つ一つの命にきちんと
感謝しなくちゃね

師匠も
みんな消えたよ



神様を 身近に感じよう

金剛さまが『真行』という本の中では「宇宙は悉く神の表現であり万象の奥には皆神が在す」と申されているとおり、私たちの毎日は神々様からの恩恵と加護であふれています。大自然のはたらきはすべて天神地祇太神様の無私大愛の御心のあらわれであり、私たちとはその大きな愛を受けて生かされている存在です。

私たちにとって最も身近な神様である氏神様は、たとえば「町役場」のようなもの。私たちはこの世に生まれる時も死ぬ時も、住んでいる土地の氏神の導きを受けています。子供が生まれた時や家族が亡くなった時に必ずお参りさせていただくのはそのためです。ですから、毎月一日と十五日には足を運び、日々の加護に感謝を申し上げるのが礼節です。

神様のお蔭をいつも意識して、感謝の気持ちで生活させていただきましょう。